

備前市施策評価シート

施策名 (小項目)	ごみ処理	コード	作成者	役職	環境課長
		01-01-14		氏名	森本和成
				電話	0869-64-1821・1822
				このシート作成に要した時間	4.0 時間

**この施策のアピールポイント**  
 市内に資源回収ステーションを設置し、新たなごみ分別・9種23分別に取り組んでおり、燃やすごみや埋立されるごみが減量化され、資源化が進んでいる。備前地域では、市職員が直管でごみを収集しており、きめの細かいサービスが提供できている。

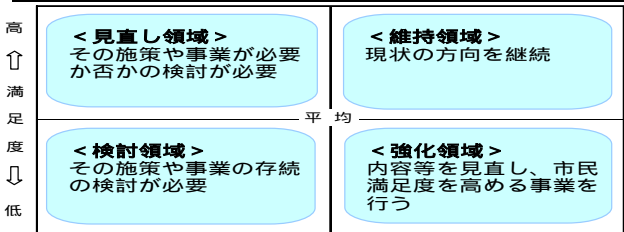
**この施策の平成24年度の施政方針**  
 ごみ処理についてであります。ごみの減量化、資源化に向け、新たなごみ分別の導入に取り組んでいるところであり、今後、更に普及啓発を推進し、市民の協力を得ながら定着に努めてまいります。また、クリーンセンター備前をはじめとする各ごみ処理施設については、引続き、適正な維持管理と延命化に努めてまいります。

< 備前市総合計画の内容から記載する >

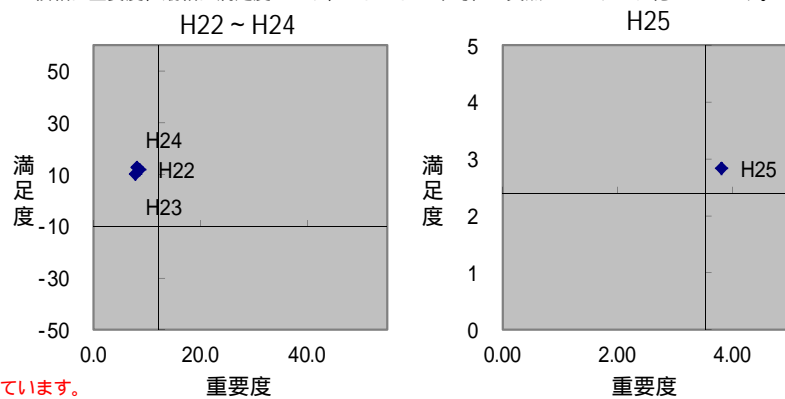
<b>政策の体系</b>	基本目標(大項目)	01安全で快適に暮らせるまちづくり
	基本施策(中項目)	01生活しやすいまちづくり
<b>対象と目的</b> (誰のために、何のために)	市民の生活環境の保全のため、市内で発生する一般廃棄物を収集し、適正かつ効率的に焼却や選別等の中間処理及び最終処分を行う必要がある。	
<b>現況と課題</b> (総合計画から現在の問題点を抽出)	広域環境施設組合が解散となり、今後は市単独でのごみ処理を行うこととなることから、現有施設の延命化を図るとともに循環型社会の構築を目指し、「もやさない」「埋め立てない」をモットーにごみの減量化・資源化を推進することが必要である。また、備前・日生・吉永それぞれの地域でごみの収集・処理体系が異なることから、統一した処理への移行を目指す。平成22年度において、廃棄物減量化・資源化対策等推進協議会を開催し、新たなごみ分別区分とごみ処理の統一化について協議し、平成22年度中旬から、新たなごみ分別に取り組んでいる。	
<b>施策展開</b> (総合計画の施策部分から、実施する施策を抽出)	<ul style="list-style-type: none"> <li>循環型社会の構築</li> <li>ごみの減量化・資源化の推進</li> <li>現有施設の延命化</li> <li>リサイクル施設の整備(H21完了)</li> <li>ごみの広域処理の推進(H21で協議終了)</li> <li></li> <li></li> </ul>	

市民意識調査による施策の重要度・満足度

調査年度	H22	H23	H24	H25
重要度(%)	8.6	7.8	8.1	3.81
満足度(%)	12.0	10.3	12.8	2.84



横軸に重要度、縦軸に満足度をとり、それぞれの平均値を交点としてグラフ化しています。



H25から数値の採取方法を変更したため、別グラフで表示しています。

調査結果に対するコメント、市民の反応等  
 調査対象でない施策は、市民の反応等  
 重要度・満足度ともに高くなっている。新たなごみ分別を平成22年度中旬から取り組んである。地域によって取組に温度差がある。今後は、定着を図るために、粘り強く、説明をしていく必要がある。

施策成果指標(基本目標・基本施策・施策意図から設定)

施策に対する成果指標名	単位	過年度実績			評価年度	成果指標の計算式の説明 ベンチマークの説明	目標値	
		H22	H23	H24			H25	H28
成果指標 ごみの減量化、資源化に取り組んでいる市民の割合	目標	%	90.0	90.0		市民意識調査結果	H25	
	実績	%	87.9	85.0			H28	
	達成率	%	97.7	94.4			-	-
	ベンチマーク						-	-
参考指標 一人当たりのごみの総排出量	目標	kg	300	300	300	排出量の推移により課題が見つかる	H25	300
	実績	kg	312	309	294		H28	294
	達成率	%	96.2	97.1	102.0		-	-
	ベンチマーク						-	-
参考指標 ごみの資源化量	目標	ト	2,800	2,800	2,800	資源化されたごみ量の推移が分かる	H25	2,800
	実績	ト	2,479	2,486	2,732		H28	3,230
	達成率	%	88.5	88.8	97.6		-	-
	ベンチマーク						-	-
参考指標 可燃ごみの量	目標	ト	9,500	9,000	8,500	延命策の検討資料となる	H25	8,000
	実績	ト	8,698	8,605	8,102		H28	6,500
	達成率	%	109.2	104.6	104.9		-	-
	ベンチマーク						-	-

目標達成に必要な新規事業(裏面 施策構成事務事業以外の事業)及び連携させる他部署の事業

実施主体	新規に必要な事業・連携が必要な事業	説明・期待される効果
備前市	可燃ごみ(生ごみ・剪定枝等)分別資源化	可燃ごみの内、生ごみ・剪定枝等を分別資源化することで、可燃ごみの減量化が図られ、施設の延命化に繋がる。

施策の評価

項目	評価	5:非常に高い 4:高い 3:どちらともいえない 2:低い 1:非常に低い				
		判断理由(なぜ、そのランクと評価したのか)				
1 <成果指標の妥当性> 施策の目的・成果を表現しているか?	4	法令に基づき市が実施しているが、市民の協力は不可欠である。資源ごみの集団回収は、町内会やボランティア団体等の協力を得ながら着実に成果を挙げている。一方、総排出量の抑制、リサイクルの促進等については、更なる協力体制が必要である。				
2 <事業構成の妥当性> 手段は最適か?	3	ごみ処理に関連するを把握する上で妥当である。				
3 <施策の有効性> 指標分析、評価年度・中長期の達成見込みは?	4	資源回収団体が、資源ごみを年間約1,557トを回収している。年間焼却量の目標は達成しているが、資源化量は目標を達成していない。ごみの減量化、資源化については、今後も取り組んでいかなければならない。				
進行年度(H25年度)の取組内容 (課題解決状況)		ごみ焼却維持管理事業についてはランニングコストの削減に努力する必要がある。最終処分場維持管理事業については、より一層の資源化を図り、施設の延命化に努める必要がある。資源化・減量化のため、平成22年度から取り組んできた新たなごみ分別は、日生地域では概ね100%完了している。備前地域は、71%と推移しているが、進行が鈍くなっている。今後も継続して推進していく。吉永地域は、一部事務組合での処理となっているが、H25未で終了するため、受け入れ準備や地域への啓発に努めなければならない。				
翌年度(H26年度)の取組目標		新たな収集処理体系の実施地域を拡大しながら定着に努め、ごみ処理施設の延命化・長寿命化を図る必要がある。和気北部衛生施設組合でのごみ処理がH25年度末で終了することとなっていることから、定着に努めなければならない。				
二次評価者コメント		ごみ処理施設の延命化・長寿命化を図る必要があるため、新たな収集処理体系の定着を図る必要があり、更なる拡大・実施に向けて進めてもらいたい。また、吉永地域への普及啓発に努め、スムーズな移行を図りたい。			基本施策への貢献度	4 やや高い
役職	市民生活部長					
氏名	野上 茂之					

施策構成事務事業の評価

施策を構成する 事務事業	細事業	事業 分類	事業費等（単位：千円，人）										施策への 貢献度	
			平成22年度			平成23年度			平成24年度			平成25年度		
			直接 事業費	人件費	人工数	直接 事業費	人件費	人工数	直接 事業費	人件費	人工数	当初予算		
1	循環型社会推進事業	循環型社会推進事業	単市	2,399	6,256	0.79	0	8,101	1.70	6,141	3,830	0.46	0	
		資源ごみ回収推進事業	単市	8,713	315	0.05	8,740	344	0.05	7,787	245	0.04	8,750	
		廃棄物減量化・資源化対策等推進事業	単市	130	403	0.06	59	222	0.03	65	261	0.03	143	
2	ごみ処理施設管理事業	生ごみ処理容器購入費補助事業	単市	432	59	0.01	413	222	0.03	524	61	0.01	680	
		備前ごみ処理施設維持管理事業	単市	89,344	24,746	3.62	114,914	25,178	3.61	101,457	25,943	3.67	107,164	
		日生ごみ処理施設維持管理事業	単市	25,010	119	0.02	27,041	241	0.03	23,793	966	0.14	27,026	
		不燃物前処理事業	単市	28,084	5,648	0.90	26,616	5,663	0.90	25,992	6,004	0.91	25,900	
		備前最終処分場維持管理事業	単市	10,597	8,868	1.97	12,692	9,522	2.08	15,531	9,094	1.89	10,414	
		日生最終処分場維持管理事業	単市	10,169	160	0.02	10,581	471	0.05	11,027	1,026	0.12	23,894	
		全国都市清掃会議負担金	単市	80	0	0.00								* H22終了
		全国都市清掃会議中国・四国地区協議会負担金	単市	2	0	0.00								* H22終了
		東備環境施設連絡協議会負担金	単市	30	0	0.00	20	0	0.00	20	0	0.00	30	
		廃棄物処理施設技術管理者協議会会費	単市	30	0	0.00	30	0	0.00	30	0	0.00	30	
		岡山県廃棄物処理施設整備等促進協議会負担金	単市	30	0	0.00	30	0	0.00	30	0	0.00	30	
		岡山県適正処理困難指定廃棄物対策協議会負担金	単市	20	0	0.00	20	0	0.00	20	0	0.00	20	
3	生活環境改善事業	職員研修会等参加負担金	単市	109	0	0.00	134	0	0.00	136	0	0.00	128	
		環境衛生改善補助事業	単市	7,805	370	0.05	14,278	238	0.03	7,154	955	0.11	15,250	
4	塵芥収集事業	塵芥収集事業	単市	90,441	84,180	13.79	103,973	80,628	13.71	81,413	77,757	13.76	91,217	
		指定ごみ袋事業	単市	13,291	2,866	0.38	16,059	1,898	0.28	16,672	2,307	0.30	22,330	
		苦情処理事務	単市	0	78	0.01	0	476	0.06	0	662	0.08	0	
5	和気北部衛生施設組合負担金事業	和気北部衛生施設組合負担金	単市	67,632	207	0.02	95,469	742	0.07	66,096	409	0.04	59,521	
6	ごみ処理施設整備事業	ごみ処理施設整備基金積立事業	単市						10,000	0	0.00	10,006		
			平成22年度			平成23年度			平成24年度			平成25年度		
この施策に費やした資源（単位：千円，人）			354,348	134,275	21.69	431,068	133,946	22.63	373,888	129,520	21.56	402,533		